

【様式】

政 務 活 動 一 覧

議員名： 西村 弥子

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の内容	関連領収書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
	R7. 4. 23 9:00～ 12:00	鳥取市	議会棟	議会事務局・県執行部等 関係職員	インド議連勉強会	4-5～6
	R7. 5. 13 13:00～ 16:00	鳥取市	議会棟	知事・県執行部等関係職 員	知事要望	5-3～5
R7. 6. 30 -7. 2	R7. 7. 1 8:30～ 15:30	東京都 港区	サントリーHD (株) ワールドヘッド クォーターズ	サントリービジネスシス テム株式会社 コラボレイティブセンタ ーセンター長 様、課長 様	サントリーグループ DEI (多様性・公平性 ・包括性) 推進事業を 見学	活動報告 (県 外) のとおり
	R7. 9. 9	東京都 千代田区	駐日インド 共和国大使館	鳥取県・駐日インド共 和国大使館	インドとっとりデ ー 出席	活動報告 (県 外) のとおり
R7. 9. 12 -9. 13	R7. 9. 13	鳥取市	ヤマタスポーツ パークテニス場	大会名 TOTTORI ジュニアテニ ス中国大会	大会挨拶、 鳥取県 PR (後援)	9-4
R7. 10. 23 -10. 25	R7. 10. 24 7:55～ 10:15	山梨県 甲府市	甲府市立千塚小学校	千塚小学校 校長 風間 俊宏 様 甲府市教育委員会 2名	「こうふのたから ばこ」の取組につ いて	活動報告 (県 外) のとおり
	R7. 11. 10	米子市	米子市公会堂大ホール	主催 米子市	米子市中学校 ふるさと教育発表会	11-3
R7. 11. 17 -11. 18	R7. 11. 18 8:45～ 11:00	鳥取市	青翔開智中・高校	青翔開智中・高校 校長 織田澤 博樹様	「探求学習の調査」 主体性のある子ども を育成するためには	11-5
R7. 11. 24 -11. 26	R7. 11. 25 13:10～ 15:30	沖縄県 石垣市	石垣市議会	新川小学校 校長 大浜 公三枝 様 石垣市議会事務局 2名	教職員のウェルビー イングの向上を図る 学校経営について	活動報告 (県 外) のとおり
	R7. 11. 25 19:00～ 21:00	沖縄県 石垣市	チャレンジ石垣島	石垣市公営塾 ニライキャンパス 様	高校生対象・石垣市 公設塾の視察見学・ 調査	活動報告 (県 外) のとおり
	R8. 1. 5	米子市	米子コンベンション センター	主催 米子市	新年のつどい	12-3

R8. 2. 2 -2. 3	R8. 2. 2 10:00～ 14:00	鳥取市	議会棟	議会事務局・県執行部等 関係職員	主要事業説明会	2-1
	R8. 2. 3 9:00～ 9:50	鳥取市	議会棟	商工労働部 雇用・働き方政策課	聞き取り	2-1
	R8. 2. 3 10:00～ 14:00	鳥取市	議会棟	議会事務局・県執行部等 関係職員	主要事業説明会	2-1

- ・ 交通費（JR 等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・ 移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が1日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・ 県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

活動報告（県外）

議員名： 西村 弥子

活動事項	人気 TikToker 軽度知的障がい当事者 ■■■■■ さんに同行し、サントリーグループ DEI（多様性・公平性・包括性）推進事業を見学
活動年月日	令和7年7月1日（火）
場所	サントリーホールディングス（株）ワールドヘッドクォーターズ 東京都港区台場 2-3-3
活動の相手方	サントリービジネスシステム株式会社 コラボレイティブセンター センター長 ■■■■■ 様、課長 ■■■■■ 様 ほか
活動の目的	【目的】 ・■■■■■ さん（■■■■■）のサントリーグループでの講演に同行し、講話と DEI 推進事業を聴講・見学 ・コラボレイティブセンター勤務の社員との座談会、職場見学
活動の内容	【内容】 ・8:45 羽田空港第2ターミナル 出迎え バス・電車にて社屋まで同行 ・10:40 サントリーワールドヘッドクォーターズ 到着 ・12:00～13:00 講演会「寺子屋」（リアル会場+オンライン）約 200 名 ・13:15～14:30 昼食 ・14:30～15:10 座談会（リアル会場+オンライン） ・15:10～15:30 職場見学
活動の結果等	【結果（成果）等】 ●サントリーグループでは 2015 年から知的障がいを持つ社員が勤務。ダイバーシティ経営の一環で、2018 年に立ち上げた「コラボレイティブセンター」は全国 7 拠点、42 名の当事者を雇用している。 ●議会でも折に触れ紹介した軽度知的障がい「■■■■■」こと■■■■■ さんが、初めての企業・サントリーグループの依頼で講演する機会に同行させて頂き、DEI 推進事業の先進的な事例を知った。 ●「軽度知的障害者の私が見てきた世界とは」～人気ティックトッカー・■■■■■ さんが当事者目線で語るリアル～と題し、40 分間堂々とスピーチを演じた。生きづらさ、周囲に知ってほしい事、今後の夢などを語り、約 200 名の社員（年齢、性別、職責は様々）が熱心に聴講した。「『障がい者』でなく、その人を見てほしい」という点に共感した社員も多かったと感じた。 ●座談会と職場見学では、20 代から 30 代の社員が■■■■■ の■■■■■ を囲み忌憚のない意見交換をした。知的障がいのある社員が他の社員と交流しながら働く姿や、サントリーならではの取組や福利厚生を知った。ダイバーシティ（多様性）の中で、公平性・包括性と職場の「合理的配慮」を実践する会社の知見を得ることができた。
関連領収書番号	6-3～5

活 動 報 告（県外）

議員名： 西村 弥子

活 動 事 項	インドとっとりデー 出席
活 動 年 月 日	令和7年9月9日（火）
場 所	駐日インド共和国大使館（東京都千代田区九段南2-2-11）
活動の相手方	鳥取県・駐日インド共和国大使館
活 動 の 目 的	【目的】 ・インドと本県の交流促進のため開催されるイベントを通じ、既に現地にて行っている観光 PR、経済・人的交流に取り組む本県企業・団体の活動や、インド国、州等の行政機関等の方針や取組みを知り、情報と知見を得るため。 ・対インド交流関係者との交流、文化交流
活 動 の 内 容	【内容】 ・13：30 ビデオ上映 ・13：35 ～55 主催者（大使・知事・議長・JETRO）挨拶 ・13：55 プレゼンテーション（鳥取県） 観光大使 MAYO／チーム鳥取インド輸出蔵元会／大成工業（株） （株）ノーチスラボ／（株）RO／東亜ソフトウェア（株）／ イッポラボ合同会社／ ・14：55 チェアーヨガ ・15：00 プレゼンテーション（インド） オディシャ州政府水資源局、ほか ・15：25 インド観光局 ビデオ上映 ・15：30 インド文化講演 カタックダンス
活 動 の 結 果 等	【結果（成果）等】 ●インドのシビ・ジョージ大使が翌日にインド外務副大臣に就任するというニュースを平井知事が発表し会場全体で祝福、「インドとの友好交流をする数少ない県になりたい」と、改めて対インド友好交流の前進を表明した。 ●本県の観光 PR に現地で携わる MAYO 様・チーム鳥取様、大成工業様はじめ、既にインドとの経済交流活動を行っている方々のプレゼンを聴き、汚水処理・水環境、医療、留学、人材受入れ等の現状把握と今後の展望について知ることができた。 ●インド・オリッサ州はじめ行政機関等の取組、医療関係スタートアップ、投資関係など、活力ある現地の状況を伺い知ることができた。 関係者との対面交流もできた。今後の交流促進に活かしていきたい。
関連領収書番号	8-5, 9-3

活 動 報 告（県外）

議員名： 西村 弥子

活動事項	「こうふのたからばこ」の取組について
活動年月日	令和7年 10月 24日（金）
場所	甲府市立千塚小学校（〒400-0074 山梨県甲府市千塚1丁目2-16）
活動の相手方	甲府市立千塚小学校 校長 風間 俊宏 様 甲府市教育委員会 学校教育課 指導主事 和知 勲 様 同 学事課 係長 杵川 義弘 様
活動の目的	児童生徒の生活データや学力データを効果的に活用している自治体の先進事例を視察調査し、メリット・デメリットを知るため
活動の内容	・ 7 : 5 5 学校到着 ・ 8 : 0 0 きもちメーター入力の様子を視察 ・ 8 : 3 0 校長室できもちメーターダッシュボードを確認する様子を視察 ・ 8 : 4 0 学校長より、千塚小に対する質問への回答 ・ 9 : 0 0 「こうふのたからばこ」に関する質問への回答を学校教育課・学事課より ・ 10 : 1 5 視察調査終了・学校出発
活動の結果等	【結果（成果）等】 ●先行事例として Google Cloud の教育ビッグデータ「こうふのたからばこ」（甲府市教育委員会）の取組について、実際に生徒・教員両方の端末使用をみながら現状把握することができた。 ●「きもちメーター（心の健康観察）」等の生活データや、「e ライブラリ）」等のデジタルドリルやデジタルツールを「<u>ダッシュボードによる可視化</u>」が様々できる。児童は自分の健康状態や学びのがんばり度合いを客観的・継続的に知ることができる。また学習意欲の向上に繋げられる。教師も即座に児童個人・学級・学年・学校単位で分析が可能で、効果的な指導に活かすことができる。 ●導入したことで、不登校未然防止に効果が表れた。 ●教育蓄積データを可視化することで、①「根拠・裏付け」が取れて指導に活かせる②教師の「勘」を支える・実証することができる ●生成AIの機能は便利で、意外にベテランほど利用している。 ●デメリットは、費用がかかることくらい（年間約2,200万円）主に、上記のことを知ることができた。本県の教育に活かせるか、教育委員会や現場と共に、考察していきたい。
関連領収書番号	9-5, 10-4~10

活 動 報 告（県外）

議員名： 西村 弥子

活動事項	教職員のウェルビーイングの向上を図る学校経営について
活動年月日	令和7年 11月 25日（月）
場所	石垣市議会（沖縄県石垣市字真栄里 672 番地）
活動の相手方	石垣市立新川小学校 校長 大浜 公三枝 様 石垣市議会事務局 局長 浦崎 克己 様 同 議事調査係 主任 仲山 慶政 様
活動の目的	教師としての専門性や指導力の向上を図り、教師の自己実現を目指す学校経営について学ぶ。教職員の所属意識を高め、安心して自己実現を目指せる組織づくり～「みんなの学校！ピースフル・プラン」～の取組を学ぶ。教育現場の現状と課題、対策・取組内容等について意見交換し、本県の教育現場での施策に活かすため。
活動の内容	・ 13：10 石垣市庁舎・市議会到着 ・ 13：30 石垣市議会局長挨拶、大浜校長挨拶 ・ 13：35 大浜校長の事例発表、意見交換 ・ 15：15 意見交換終了、市議会で記念撮影・談話 ・ 15：30 視察調査終了
活動の結果等	【結果（成果）等】 ●石垣市立新川小学校において、大浜校長が自ら実践・取り組まれた学校経営の手法・内容と効果等について、直接お伺いできた。予定時間を超えて活発な意見交換を頂き、大変有意義だった。 ●沖縄県・石垣市も若手教員の指導力やモチベーションの向上、また、全国学力学習状況調査では毎年最下位クラスであり、本県と同様の課題がある。低学力層・学習困難地域にある新川小において「教職員のウェルビーイング向上を図る学校経営」は、子どもの学力向上のためにも、本質的な対策・取組であると実感した。 ●早稲田大教授・川村茂雄氏の「教員組織所属意識尺度」を用いて教職員を A 群：自律的協働群、B 群：やらされ傾向群、C 群：個人的実践群、D 群：孤立群 を分析。各タイプの特徴、組織の発達段階に応じたビジョン設定、リーダーシップ等を形成することを目指すもの。 ●学校スローガンは「新川小学校を、新川笑楽幸へ」。また、沖縄県教育委員会の「みんなの学校！ピースフルプラン」（働き方改革推進計画）の具体的な実践内容についてもご説明頂いた。県独自の標準学力調査で子どもの学習状況を把握、「教務に時数を持たせすぎない」、「頼みやすい人に頼らない」、「保護者との信頼関係づくり」、「校外研修の充実」、「教育格差是加配」（スタディサポーター）、等々。「JK（女性管理職）友の会」という研究協議会を結成し、同僚性が高く自主性を上げる取組もなさっている。
関連領収書番号	9-12, 11-6～8, 11-11

活 動 報 告（県外）

議員名： 西村 弥子

活動事項	高校生対象・石垣市公営塾の視察見学・調査
活動年月日	令和7年 11月 25日（月）夜間
場所	チャレンジ石垣島（沖縄県石垣市登野城 510 番地）
活動の相手方	石垣市公営塾 ニライキャンパス XXXXXXXXXX 様
活動の目的	高校生の多くが、県外に進学・就職等に出ていく沖縄県石垣島において、石垣市が行う公営の自立型人財の育成塾に伺った。島で暮らす高校生が、どのように自分と向き合い、どんな進路希望や課題意識、地域に対する考え、将来の U ターン志向等を持っているかを探り、本件の施策に生かす。
活動の内容	・ 19:00 チャレンジ石垣島 到着 ・ 19:30 公営塾 開始 紹介・ご挨拶 ・ 19:40 橋爪様より活動・運営内容の講義 ・ 20:00 塾生たち（高校生約20名）のグループワーク見学、意見交換 ・ 21:00 視察調査終了
活動の結果等	【結果（成果）等】 ●いずれ島を出ていく高校生（ほとんどが進学校の八重山高校）がの殆どが、島のエイサーなど郷土芸能や地域文化に愛着と誇りがあり、全員が「石垣島が好き」と答えた。 ●学校の探求学習とは別に、この塾でプロジェクトとして年間通じて計画を立て、地域の人々に協力を頂きながらチームで活動 ●政治プロジェクトのチームに、高市政権どう思う？と女子生徒に質問し『国政が動いた。でも台湾有事の発言もあり、注意しないと。』と、躊躇なくスッと回答。尖閣諸島も圏内で、台湾に程近く台湾の大学に進学する生徒もいるキャンパスならではの、と実感。 ●若手社会人の伴走者（アドバイザー）2名が、とても熱意があり、意欲的で生徒にとっては、頼りになる存在であった。「若者が伴走して、高校生を育てる」というのが魅力。 ●8 年目となる公営塾、そろそろ卒塾生が帰ってきて運営に加わってほしい、とのことだが、きっと実現するだろうと実感。 ●高校生が、自分と向き合い、地域の大人と協働する時間と体験が重要。地域の大人がどれだけ親身に、前向きに関わったかが、将来の U ターンや将来の地域振興の原動力となると実感した。とても有意義な学び多き時間だった。
関連領収書番号	9-12, 11-6～7, 11-9, 11-11